

2 目標達成計画

事業所名： グループホーム 絆

作成日： 令和2年11月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		個々の能力に合わせた入浴支援は行えているが、職員体制等の都合で時間や入浴日を決めてしまっている。 また、個々の希望する曜日、時間帯での入浴提供は難しい。	個々の入浴の満足度が上がる。	<ul style="list-style-type: none"> ・脱衣所、浴室の環境整備。 ・定期的な入浴の継続(1日3回)。 ・季節感を楽しめる工夫(しょうぶ湯、入浴剤など)。 	6 か月
2		家族との面会や外出は出来ていたが、コロナの影響で面会制限となり、外出機会も減った。もともと馴染みの場への外出支援はできていない。近所への日用品の買い物には個別で行っているが、希望に沿った外出はしていない。	個々の希望を把握し、外出支援へ繋げていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な近所の散歩、日用品の買い物への外出の継続。 ・家族や地域等の協力があれば支援の幅も広がるので、利用者の希望をしっかりと把握し情報共有し、希望と合わせ必要な協力体制を構築し予定を立て実現する。 	12 か月
3		不快や混乱しないように配慮した環境整備は行っているが、ハード面で困難な所がある。また、職員によって理解の差があり、そこまで考えられていない部分もある。	食堂・部屋以外にも落ち着けるスペース、環境を提供。	<ul style="list-style-type: none"> ・居心地の良い空間作りの必要性や意味を職員間で理解する為、内部研修等で理解を深める。 ・季節感を感じられる様な飾りなどを利用者と共に作り飾る。 	12 か月
4		散歩や回覧板を利用者と一緒に届ける等、近所と顔を合わせたり挨拶したり出来るようにしているが、外出の機会を含め地域との交流の機会が少ない。	利用者が職員と一緒に町内会への参加ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・近所との挨拶等での交流継続。 ・民生委員や包括支援センターと連携し、地域との交流の場への参加や機会を設ける。 ・事業所職員が地域へ出向き、地域との繋がりを構築していく。 	3 か月
5		職員間で話し合い、本社担当者へ相談や問い合わせは行っているが、運営に関しては職員全員が把握している訳ではない。一部の意見や提案のみ反映されていると感じている。職員全員がサービスの意義を理解できていない。全員揃っての会議が出来ず、情報共有しているが実践にまでつながらない。	職員が運営状況を把握し、意見や提案が反映できる。 また、職員全員がサービスの意義を理解し、理念の実践が出来る。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なミーティングで運営状況等の情報共有をし、意見や提案がしやすい環境を作る。 ・ミーティングや内部・外部研修を通し、サービスの意義の理解を深める。 ・定期ミーティング以外でも利用者の情報提供、情報共有し状況に応じてカンファレンス等を通し見直し検討をし、理念の実践に繋げていく。 	12 か月